

赤間正明・一般質問行う！

安全・安心な生活を推進！

新型コロナウイルス感染症対策、防災対策、医療・福祉、教育問題等について質問しました。また、皆様から強く要望いただいていた「優待カード」が「ちーバリュカード」として10月にスタートしました。



(一般質問を行う、赤間正明)

「ちーバリュカード」・10月にスタート！

一般質問

健康ポイント事業で協賛店の募集を開始

赤間正明議員(公明党) 市川市



赤間議員は、県が市町村と連携して進めている、高齢者向けの健康ポイント事業を取り上げ、「コロナ禍で高齢者の外出機会がますます減っている」とし、ウオーキングや検診参加でポイントを取得すると協賛店で優待サービスが受けられる同事業は健康づくりの環境整備となつてほしいと答弁した。

(赤間質問：千葉日報)



「ちーバリュカード」

シニアの皆様から強く要望をいただいていた「優待カード」。千葉県は、市町村の健康推進事業やボランティア事業等に積極的に参加された方に、「ちーバリュカード」(図)を進呈することを決定。2020年10月から協賛店の募集がスタート。「子育て支援カード・チーパス」についても「高校生まで」の年齢拡大を実現してまいります。

「赤間正明・一般質問」

赤間：健康ポイント事業の現在の準備状況はどうか。また、優待カードのデザインはどのようなものか。
保健医療担当部長：10月から協賛店の募集を開始し、「県民だより」で周知するほか、専用ウェブサイトを開設し、事業者からの申し込みを受け付ける予定です。また、優待カードのデザインについては、チーバくんが体操しているイラストを採用いたしました。

◎赤間まさあき・プロフィール 昭和36年10月、宮城県仙台市生まれ、創価大学卒業、千葉県議会議員6期目、文教常任委員会委員、公明党千葉県本部幹事

安全・安心のくらしを推進！

◆市川市域・浚渫事業の推進を！

◆市川印西線(木下街道)の安全対策を！

◆「緊急浚渫推進事業債」の活用で浚渫事業の推進を！

赤間：千葉県並びに市川市域における「緊急浚渫推進事業債」を活用した取組はどうか。

県土整備部長：県内88河川で、緊急浚渫推進事業債を活用して事業を実施。大柏川外3河川や、国分川調節池及び大柏川第一調節池においては、現況調査の結果を踏まえ、順次浚渫等の対策を実施してまいります。

◆遊船会社の事業の継続を要望！

赤間：市川市のハゼ釣りの名所である「江戸川放水路」の「棧橋架け替え問題」について、「利用者協議会」に参加している千葉県として市川市・国土交通省と連携し、遊船会社の事業が継続できるように、支援を要望します。



(環境学習等で活躍の船)

◆市川印西線(木下街道)の交通安全対策の強化を！

赤間：市川印西線(木下街道)の安全対策強化に関する地域の強い要望に対し、県警察本部としてどのように取り組んでいくのか。

警察本部長：「鬼越二丁目」交差点から「北方十字路」交差点までの区間については、児童の安全確保のため、通学時間帯における大型車両等の通行禁止違反や最高速度違反の取締りを実施。規制予告標識の増設や注意喚起看板の設置について、道路管理者と連携しつつ、検討してまいります。

◆要望書提出しました。～木下街道の交通安全・若宮小学校前の歩道橋の老朽化対策について～



(赤間正明、自治会長、PTA会長とともに要望書を提出)

市川印西線(通称：木下街道)の安全対策強化に関する要望書(自治会長・PTA会長等14名の署名捺印)を代表の奥山自治会長様、小澤PTA会長様、久保川市議員とともに「千葉県 県警察本部長」「千葉県 県土整備部長」に提出しました。大型車取り締まりの実施。速度超過車両の取り締まりの実施。(可能な場所における)ガードパイプやラバーポールなどの設置。スピード抑制への対策強化・・・等前向きな回答をいただきました。



公明党千葉県議会議員 赤間正明

◎ホームページ・<http://www.komei.or.jp/km/akama/>

◎メール・masaakia36@gmail.com

防災対策・既存ダムの活用！

◎既存ダムの活用による洪水調節機能の強化を推進！

◎感染症及び災害対策に対応した「ポータブルトイレ」の確保を！

●洪水対策として既存ダムの活用を主張！

赤間：洪水対策について、既存ダムの活用による洪水調節機能の強化に向け、県はどのように取り組んでいるのか。

知事：5水系13ダムについて、利水容量の一部を洪水調節に活用するため、ダム管理者や利水者と治水協定を締結。亀山ダム、高滝ダムでは、新たなルールにより運用を開始。今後、亀山ダムと一体的に運用している片倉ダムを除く10ダムについても、ダム管理者等との協議により、運用ルールを策定してまいります。



(防災対策本部の赤間正明)

●電力会社と協定締結で重要施設への電力確保へ！

赤間：災害による長期停電中の重要施設への電力確保に向けた県の取組状況はどうか。

知事：電力会社と協定を締結し、医療施設や社会福祉施設などを重要施設と位置付け、緊急度の高さにより区分したリストを作成し、情報共有。また、電源車の配備に関する要請の手順や連絡先等を定めたところです。

●応急給水拠点にブッシュ型で人員の派遣を！

赤間：台風・大雨などで事前に断水が予想される場合には、妙典給水場等の「応急給水拠点」に、ブッシュ型で人員を派遣し、確実に給水ができる体制を構築すべきと思うがどうか。

企業局長：応急給水が必要となった時は、各浄・給水場に設置されている応急給水拠点を開設し、交代要員を派遣して、給水活動を継続していくこととしております。今後とも、災害時にもお客様に確実に給水できる体制を構築してまいります。



(水道倉庫を視察する赤間正明)

赤間：緊急時、県営水道の復旧作業に当たる事業者へは、「水道管路情報の電子提供」を可能とすべきと思うがどうか。

企業局長：緊急時の復旧に紙情報で事業者に貸与していますが、近隣の水道事業者では、条件を定めて電子情報で提供している例もあるので、今後、セキュリティ対策等を調査し、電子情報の提供のあり方を検討してまいります。

●感染症及び災害対策に対応した「ポータブルトイレ」の確保を！

赤間：感染症対策や災害対策に対応した「ポータブルトイレ」等の確保対策が重要な課題となっているが、千葉県の「避難所トイレ対策」の現状と今後の取組はどうか。

防災危機管理部長：県では、ポータブルトイレの整備を含め、避難所における感染症や保健衛生対策など地域防災力向上総合支援補助金により市町村を支援。組立式簡易トイレを2,400基、携帯トイレを約14,000個保有。引き続き備蓄の充実を図ってまいります。

●行徳橋の架け替えが完了しました。

可動堰の改修時に合わせて実現した「行徳橋」。何より2倍以上の広さとなった「歩行者自転車道」が好評です。安心して通行できるようになりました。皆様のご支援のお陰です。ありがとうございました。

(新しい行徳橋)



医療・福祉・教育の充実を！

◎子どもの健康と健全育成を推進！

●子どもの予防接種対策・ワクチン再接種への補助を！

赤間：新型コロナウイルス感染症の影響で、子どもの予防接種率の低下が危惧される。千葉県の取り組みはどうか。

保健医療担当部長：市町村や関係団体とともに被接種者が安心して予防接種を受けられるよう、周知の徹底を図ってまいります。

赤間：骨髄移植などにより「抗体を失った子供たちのワクチン再接種」の助成に取り組む市町村に対し、その補助を行うべきと思うがどうか。

保健医療担当部長：再接種については、接種費用は全額自己負担となることから、国の厚生科学審議会において支援のあり方が検討されているところです。県としては、国の検討状況を注視し、支援方法について検討してまいります。

●児童虐待防止対策のため、児童相談所とDV相談支援センターとの連携を！

赤間：児童虐待防止のため、千葉県として児童相談所と配偶者暴力相談支援センターの連携を強化すべきと思うがどうか。

健康福祉部長：本年度からは、DV部門を健康福祉部児童家庭課の所掌とし、センターのDV相談員による児童相談所への出張相談を実施。要保護児童対策地域協議会等へのセンター職員の参加を推進し、児童虐待の防止に努めています。

●ドクターヘリ運航事業に適切な予算措置を！

赤間：消費税の増税に伴い、ドクターヘリの運航事業者の財政的負担が増大。適切な予算措置が必要と考えるがどうか。

保健医療担当部長：県では、これまでも補助制度の見直しについて国に要望してまいりましたが、

今後も、実態に即した必要経費が補助される制度となるよう国に強く要望してまいります。



(ドクターヘリ)

●ゲーム依存症の早期発見・早期対応を！

赤間：学校現場においてオンラインゲーム依存を含むゲーム障害が、軽症のうちに医療機関などにつながられるよう、教員に研修を行うことが必要と考えるがどうか。

教育長：ゲーム等による悪影響について児童生徒が自ら考えるよう指導。本年新たに、専門医療機関の講師を招き公立学校の担当教員約1,200名を対象に研修会を行い、依存症の早期発見・早期対応の重要性について理解を深めてまいります。

●学校生活アンケートの回収方法の改善を！

赤間：小学生を対象とした学校生活アンケート調査を、学校を介さず直接回収する方法や郵送で受け付けるなどの改善を図るべきと考えるがどうか。

教育長：郵送でアンケートを回収する自治体もありますが、児童が回答しやすい反面、回答によっては学校が特定できず、具体的な対応につながらないこともあると承知しています。メリット、デメリットの情報収集に努めてまいります。

＊実現しました！ ～がん治療に温熱療法・ハイパーサーミア～

●千葉県がんセンターにハイパーサーミア導入！

千葉県がんセンターに、がん治療対策として「温熱療法、ハイパーサーミア」が導入されました。これは、県内公立病院初であり、平成29年12月定例議会において赤間が公明党を代表して質問し、実現しました。(ハイパーサーミアを視察する赤間正明)

